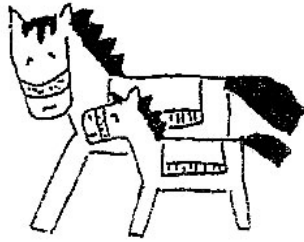


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポッキリ、ポッキリと

30年 1月 NO.278



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

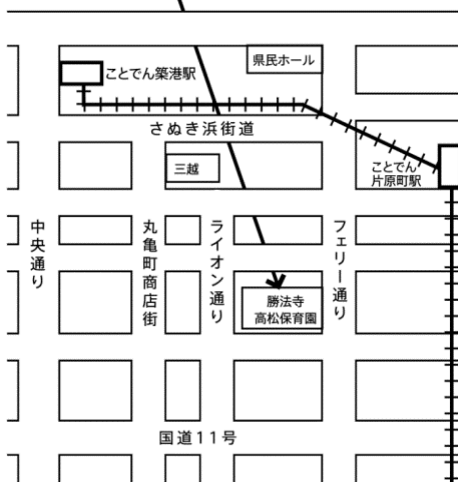
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		1月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
1月 13日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
1月 20日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て体験に おいでて下さい。
1月 20日	土	絵本と小物づくり 14:00～16:00	光の万華鏡(光にむけるとひかる)を つくります。予約要 1/15まで
1月 23日	火	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	昔からのお正月あそびをします。 (かるた、すごろく、トランプ、福笑い)
1月 26日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	園医師(小児科医)にゆっくり 相談できます。(予約要)
1月 31日	水	おはなしの会 10:00～12:00	「絵本をかこんであたたまろう！」を テーマに、大型絵本や手あそびなど 楽しいことがいっぱいあります。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して
いますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みすゞ童話全集
「空のかあさま・上」より

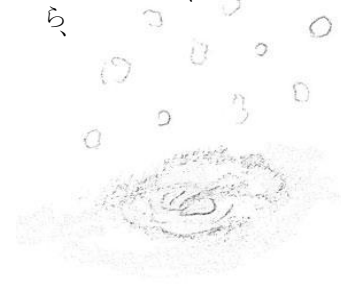
雪がふる。
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに


雪がふる。
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに

雪がふる。
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに

雪がふる。
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに
おもしろそうに

淡雪(あわゆき)





子どもの脳を傷つける

「マルトリートメント」

「チャイルド・マルトリートメント」。日本語では「不適切な養育」と訳され、暴言や暴力など明らかな虐待や育児放棄だけでなく、子育てに真剣になるあまりにしてしまう度の過ぎた行為なども含まれる。過度になると、子どもの心身が傷つき、脳が変形してトラウマを引き起こしたり、親との信頼関係が結べない「愛着障害」となり子どもの成長に影響を及ぼす可能性があるという。このほど本「子どもの脳を傷つける親たち」を著した福井大子どものこころの発達研究センターの友田明美教授は、注意を促す一方で「日常の中で起こり得ること。マルトリートメントの経験が全くない親などいない」と指摘。「大事なのは、親たちがマルトリートメントへの理解を深め、そうした行為が誤りだと認め改めること。状況は回復できる」と説く。

安心感持てず

ネグレクトなどは、親に愛されている安心感や信頼感を持ってない「愛着障害」を引き起こす可能性がある。

思春期前の子どもの場合▽我慢ができない▽学習困難、学力低下▽反抗的、破壊的になる▽しかられるとフリーズする▽コミュニケーション能力や表現力、自己肯定感、尊敬心、責任感の欠如—がみられる。いじめの被害者・加害者になったり、思春期を早く迎えたりすることにもつながる。成人してからも健全な人間関係が結べない、達成感への喜びが低くやる気や意欲が起きない—などの問題を抱えてしまうことが多いとする。

甘えさせる時間を

「子どもと接することにおっかなびっくりになる必要はない」と友田教授は強調する。「子どもの脳は柔軟で、仮に傷ついたとしても適切なケアをすれば回復する可能性がある。まずはマルトリートメントをしてしまう親が自分の行動を見直すこと、親を周囲が支援することから始めてほしい」。さらに「子

どもにとって欠かせないには、親に甘える時間」とし、「手をつないだり、抱っこをしたりすることがとても大事」と訴える。

「完璧な親などいない」とし、親たちのストレス解消も重要とする。「ストレスがたまって子どもにぶつけそうになってしまったら、友達とご飯を食べに行ったり、子どもを預けたりして上手に発散してほしい。頼れる人にはとことん頼る事です」とも。「眠りにつく前に、今日は子どもに何回触れたか、どんな声掛けをしたか振り返って」とアドバイスする。

「虐待」より広範囲

友田教授は小児精神科医で、脳科学の研究に取り組む。親の過度なマルトリートメントにより、子どもの脳が委縮・肥大することを突き止めた。子どもの心や体を傷つける行為は多岐にわたり、「虐待」という言葉ではカバーしきれないとして「マルトリートメント」という言葉を用い啓発している

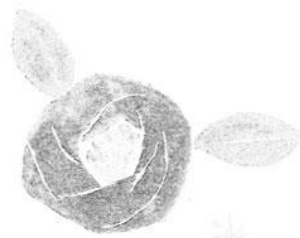
マルトリートメントに当てはまる行為はさまざま。友田教授自身も身に覚えがあるといい、▽疲れて帰宅した際、側溝に家の鍵を落とした娘をたたいてしまった▽眠っている娘を置いて短時間職場に行ってしまった一などの事例を自著の中で紹介している。自信をつけさせようと、嫌がっているのに、人前で暗算の練習をさせたこともあるとし、子育てへの熱い思いの中にもマルトリートメントはあると説明する。

成人後にも影響

マルトリートメントが過度で頻繁になると、子どもの脳は苦しみから逃れるため、行為の内容に応じて形を変える。例えば、身体的マルトリートメントの体罰の場合は感情や思考をコントロールする部分の「前頭前野」、性的マルトリートメントでは視覚をつかさどる「視覚野」の特に顔を認識する部分が小さくなる。

脳が変形すると、トラウマ（心的外傷）を引き起こすこともあり、成人後、劣等感や精神的なトラブルに悩まされやすい。共同研究者の調査では「子どものころ親のDV（ドメスティックバイオレンス）を目撃し、自身も暴言を受けたことがある若者」のトラウマが深刻だったという。

—マルトリートメントの事例—



◆身体的マルトリートメント

間違ったことをした子どもを、しつけのためにと、たたいたりつねったりする行為も当てはまる。殴る、蹴る、やけどを負わせる、溺れさせるなどの虐待は当然。

◆性的マルトリートメント

子どもの体への接触がなくても▽ポルノグラフィを見せる▽裸の写真を撮る▽性行為を見せる—なども該当。例えば着替えを見られるのを嫌がるようになったら、気持ちを尊重し見ないように。その他体を触る、性行為を強要するなどの明らかな虐待。

◆ネグレクト（育児放棄）

身近にある例では▽目が悪い子どもに眼鏡を買わない▽予防接種を受けさせない▽病気になっても病院に連れて行かない—など。子どもにスマートフォンやタブレットを与える「スマホ育児」も過度であれば該当する。その他食事や入浴、着替えをさせない、泣いていても無視する、車内に放置して熱中症で死なせるなどの虐待。

◆精神的マルトリートメント

身近な例では▽きょうだいの中で比較する▽祖父母が父母の悪口を言う—などが程度や頻度によっては当てはまる。その他▽「バカ」「ごみ」などとさげすむ▽「生まれてこなければよかった」「何をやらせてもダメだ」などと存在を否定する▽両親間のDVや言葉で中傷し合う場面を見せる（面前DV）—などの虐待。



友田教授の著者『子どもの脳を傷つける親たち』。

脳の変形の詳細や治療の実例、マルトリートメントをする親への支援の重要性、親子関係を再構築する「育て直し」などを紹介している。NHK出版新書刊。780円（税別）。

